

「気持ちを歌で伝えよう ～スマホを使って1コーラス作りにチャレンジ～」
レポート（第1回目）

開催日：2022年9月25日 @アクトシティ浜松コンgresセンター

全6回のワークショップを通して、スマホを使った1コーラスの歌と曲作りにチャレンジするワークショップの第1回目を開催しました。

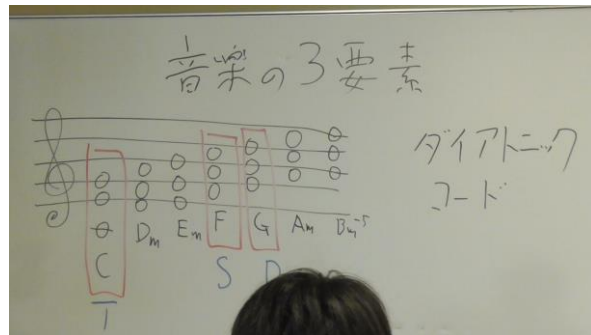
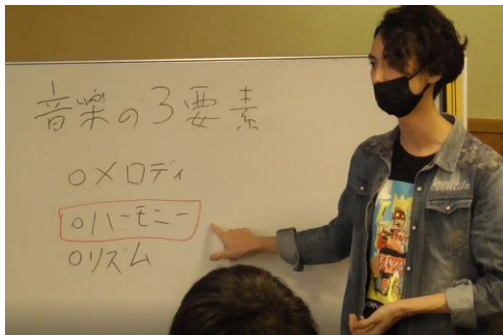
講師のジョン先生は、作曲家として、石原貴洋映画監督の音楽を数多く手掛け、『レッド・リスト』『大阪少女』『大阪闇金』などの作品に音楽を提供しています。

スマホやタブレットでも作曲ができる時代になったので、参加者は、GarageBand（ガレージバンド）というアプリを使用して、気軽に楽しみながら曲作りに挑戦していきます。

第6回は成果発表会を予定していますので、参加者の皆さんがどんな曲を披露されるのか今から楽しみです♪

第1回目は、GarageBandの使い方やコードの基本を学びました。

最初は自己紹介。ジョン先生が、普段よく聞く音楽や楽器の演奏経験などを参加者の皆さんに投げかけ、アイスブレイクから始まりました。



音楽を構成する3要素（メロディ、ハーモニー、リズム）。

まずは基本となるハーモニーを作ります。ハーモニーはコード（和音）の繋がりです。

ジョン先生から和音の説明のあと、実際にいくつかの和音を入力しました。

アプリを操作するとピアノの鍵盤が表示されて音を入力していくことができるので、感覚的に操作をしていくことができました。



次に、リズムは、好きなジャンルを選ぶとAIによって自動で作られたものを使うことができます。参加者は、アプリ内に用意されているリズムから、それぞれ好きなリズムを選びました。



メロディは「ありがとう」「こんにちは」の言葉をイメージして5つの音で作りました。言葉のイントネーションに合わせて作ったり、語尾を上げてみたり、下げてみたり、参加者の自由な発想で、それぞれのメロディを打ち込みました。ハーモニー、リズムにメロディを当てはめて、第1回目から作曲ができました。作った曲をみんなで聞き、ジョン先生から「メロディを作るときに、音階（ドレミファソラシド）に無い音（黒鍵の部分）を使うと不協和音になってしまう。まずは白鍵だけで作曲を意識して。」等のアドバイスがありました。



最後は、第3回に向けた宿題もできました。歌詞を作ることと、できる人は今日習った3和音を使って曲を作ること。まだまだ分からないこともあると思いますが、挑戦することには価値があると思いますので、参加者の皆さんには、気負わずに取り組んでいただきたいと思います(^_^♪